

健康長寿に係る先進的な取組事例

深谷市

深谷市健康マイレージ事業

～「ためるんピックふかやシーズン2 健康づくりポイント 2015」～

(1) 取組の概要

深谷市では平成25年3月に「深谷市健康づくり計画（健康増進計画・食育推進計画）」を策定し、「自分の健康は自分でつくる」という個人の取り組みを基本方針としつつ、ヘルスプロモーションの理念により、行政や地域が協働し市全体で市民の健康づくりを支援する環境づくりを目指している。

この計画に基づき、市民、行政、協賛店等の民間事業者や市内の大学、病院等の地域の力が連携した健康づくりの新たな取り組みとして、平成26年度より、深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや 健康づくりポイント」を開始した。この取り組みにより、日時や場所に制約されない幅広い健康づくり事業に参加することを可能とし、気軽に健康づくりに取り組む市民が増え、市全体で健康づくりの気運を高めることができると考える。

平成27年度においてもシーズン2として、健康づくりの継続・定着化に向けて実施しているところである。

(2) 取組の契機

(ア) 健康づくり事業の拡大・活性化の必要性

市民アンケート調査の結果から「治療よりも予防重視へ」という内容が多くみられた。しかし日常的に何らかの健康づくりに取り組んでいる（「ときどき取り組んでいる」を含む）市民の割合は4.9%であり、年代ごとにみると、30～40代では運動習慣がない人が70%以上みられた。健康づくりへの関心はあるがきっかけがない等の理由から取り組めていない世代へのアプローチが、引き続き必要であると考ええる。

(イ) 市民協働の重要性

「健康」を広い視点で捉えた場合、社会参加や他者とのコミュニケーションが重要となってくる。このため、健康づくり担当課の取組みだけでは広がりには限界がある。今後も、市民が参加しやすい魅力ある事業を実施するために、行政、市民活動、民間事業者、地域団体等と協働した、地域協働の健康づくりの重要性の啓発を図っていく必要があると考える。

(ウ) 健（検）診受診率の向上を図る

健康づくりの第一歩として健（検）診受診は重要であり、受診率の向上を図る必要がある。

(エ) 取組の内容

事業名	深谷市健康マイレージ事業
事業開始	平成 26 年度

	平成 27 年度	平成 26 年度
予 算	2,687 千円 ・印刷製本費 1,633 千円 啓発チラシ、ポイントカード等 ・消耗品費 1,054 千円	3,345 千円 ・印刷製本費 1,167 千円 啓発チラシ、ポイントカード等 ・消耗品費 2,178 千円 ※埼玉県ふるさと創造資金採択事業：市町村による提案・実施事業補助金交付事業
参加人数	2,000 人（目標値）	1,200 人（目標値）
期 間	平成 27 年 6 月～平成 28 年 3 月	平成 26 年 7 月～平成 27 年 3 月
実施体制	・深谷市（保健センター主催） ・市内協賛店 ・民間事業者、大学、病院、地域団体等	・深谷市（保健センター主催） ・市内協賛店 ・民間事業者、大学、病院、地域団体等

① 「ためるんピックふかやシーズン2」への協力依頼（平成 27 年 4 月～）

◇協賛店への登録…市内各商店（新規・継続）

※協賛店に來所した参加者にポイントシールの配付

◇事業の登録

…市役所各課、市内高等教育機関、病院、民間事業所、地区組織等（新規・継続）

※登録事業参加者へポイントシールの配付。

◇景品販売協力…市内障害者施設（新規・継続）

② 健康づくりポイントカード等の作成（平成 27 年 4 月～）

◇ポイントカード、啓発用チラシ等の作成。

③ 参加者の募集・事業の周知（平成 27 年 6 月～）

市広報、チラシ、ポイントカードの配付（広報折込み、公共施設、協賛店、登録事業開催時等に随時）により周知・参加者の募集を行った。

④ シーズン2の開始（平成 27 年 6 月～）

⑤ ポイント達成者へ景品贈呈（平成 27 年 7 月～）

※平成 27 年 12 月現在 達成者 414 名

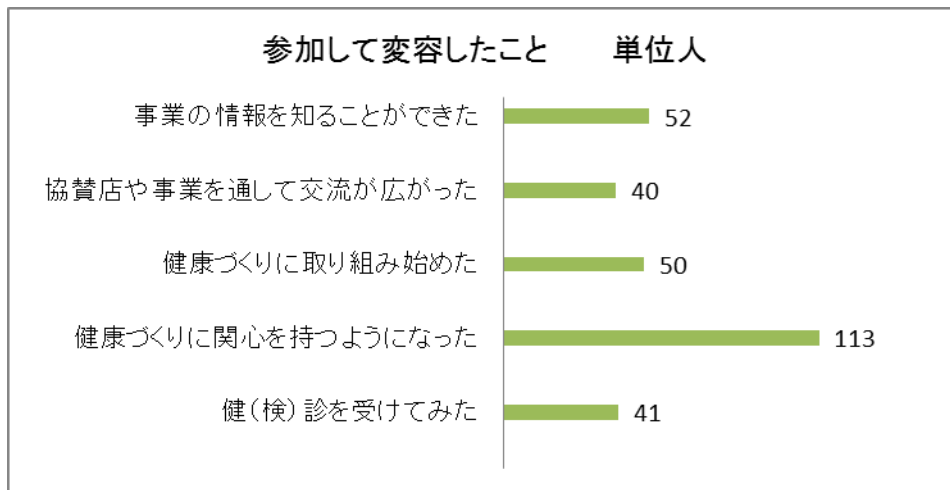
⑥ 事業評価のためのアンケート集計（平成 27 年 7 月～）

⑦ 事業から得られた情報、評価をフィードバック（平成 28 年 4 月～）

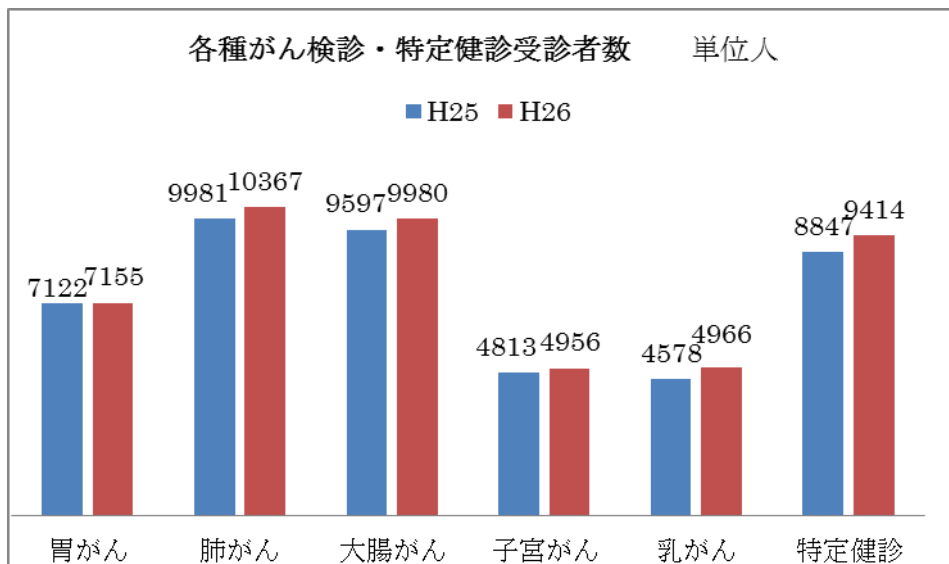
市民、関係機関等に向けて、市が把握した市民の自主的な健康づくり活動、主催を問わず各機関で実施されている健康づくり活動等の情報を還元予定。

(オ) 取組の効果

- ① 健康づくりに取り組む市民の増加 参考：H26 年度
参考：H26 年度ポイント達成者アンケート結果より



- ② 市民の健康づくりを支援する民間事業者、地域団体の増加
③ 健（検）診受診を必須項目としたことによる受診率の向上
参考：H26 年度※本事業の効果については経過をみる必要あり。



(カ) 成功の要因、創意工夫した点

- ① 各種健（検）診受診について、市が実施する以外（職場、学校健診等）も可としたこと
- ② 健康づくりの視点から主催を問わない事業登録をすることにより、市民が日時に捉われず幅広く事業に参加し、他者や地域との交流を重視したこと
- ③ 自主的な健康づくり等についても自己申告によりポイント化できるようにしたこと
- ④ 景品を障害者施設の製品としたことで、施設と参加者の交流、障害者の自立を支援することにつながること

(キ) 課題、今後の取組

- ① 目に見える形での事業効果

市全体で健康づくりの気運を高めることから医療費削減の効果等、数値に表れるまで相当の期間を要することから、数値上での効果検証は困難な点がある。

- ② 幅広い世代の参加者を確保

周知を強化し、幅広い世代に普及させるとともに、30～40代が気軽に健康づくりに取り組むきっかけとしていきたい。

- ③ 協賛店、登録事業の拡大

幅広い健康づくりを行うには、行政だけでなく民間事業者等の協力が必要であり、地域協働の健康づくりの重要性を説明し、協賛店、登録事業の拡大を図っていききたい。

深谷市ホームページ <http://www.city.fukaya.saitama.jp/>